

将棋の歴史と駒の動き方

●将棋はどこから来たか

将棋の起源は古代インドのチャトランガであると考えられています。チャトランガ紀元前 300 年から 200 年頃に生まれたとされています。日本で言えば、縄文時代から弥生時代の頃。

チャトランガをベースに 100 種以上の亜種が世界中へ伝来しました。チェス、マールクック、象棋（シャンチー）、チャンギ、将棋などに分かれていきました。



チャトランガではないが紀元前 3500 年頃の古代エジプトでもボードゲームで遊ばれていた



象棋（中国）



チャンギ（韓国）



チャトランガ（古代インド）



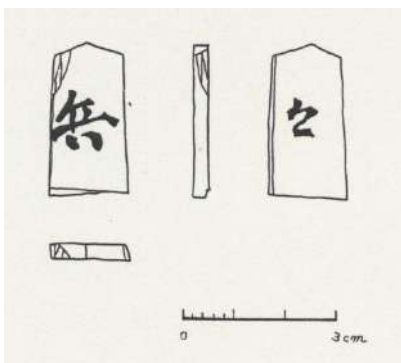
チェス（ヨーロッパなど）



マールクック（タイ）

●日本の将棋の歴史

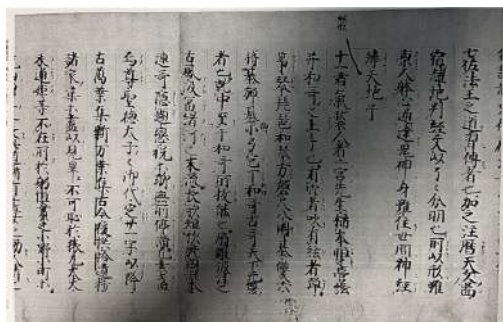
将棋は日本に伝わりましたが、日本独自の発展をしました。
現在では奈良県の興福寺境内から発掘された駒が最古といわれています。
本楯の城輪柵跡（きのわさくあと）で出土された駒が最古といわれていた時期もありました。



城輪柵跡で出土された駒



山形県酒田市城輪にあった日本の古代城柵。



「十一番目の娘の恋人は一の宮先生の柿本恒之で管絃と和歌の上手で、穴があれば吹き絃があれば奏でる。箏琴、琵琶、方盤、尺八、囲碁、雙六、将棋、弾碁、(欠字) 鞠、小弓、包丁、料理、和歌、古歌では天下にならぶ者のない名手である。」

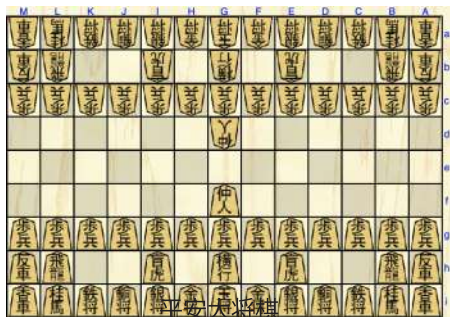
藤原明衡（ふじわらのあきひら）の著書と推定される『新猿楽記（しんさるがくき）』（1058年～1064年？）には将棋に関するコメントが確認されます。



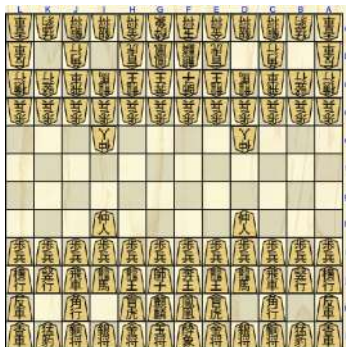
キツネのとのさまの前で、正装した棋士が野武士風の棋士に一方的に詰められる様子

●大将棋など

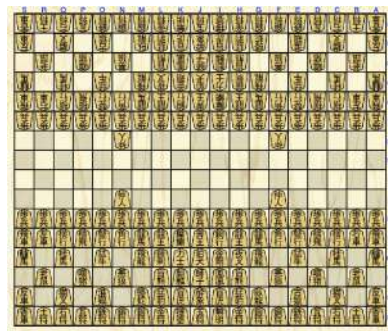
日本人は将棋をアレンジして色々な将棋を作りました。
現代まで残っているのが皆さんの前にある本将棋です。



平安大将棋



中将棋



摩訶大将棋

●駒の紹介とルール

将棋の駒を使った遊びはいろいろあります。

将棋ジェンガ、ドロボウ将棋、ハサミ将棋、回り将棋、カエル将棋…。

その中で本将棋が一般的に将棋と呼ばれています。

将棋（本将棋）は一手ずつ交代で指していき、相手の王様を詰めたら（つかまえること）勝ち。

駒の種類を数えてみよう！



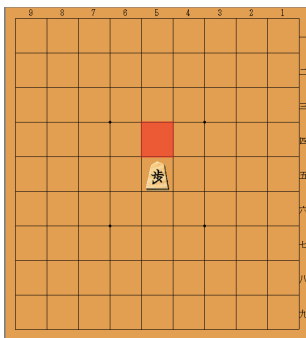
駒を大きい順に並べてみよう！



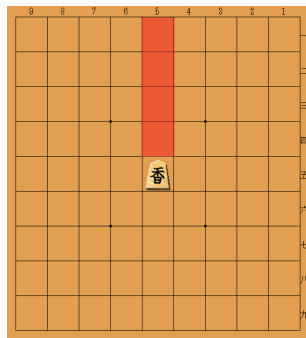
玉と王の2種類あるのはなぜ？



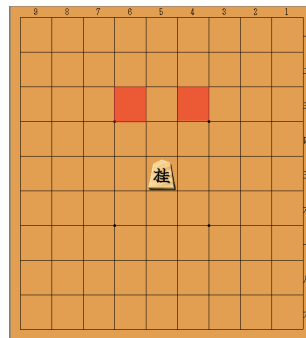
●駒の動き方



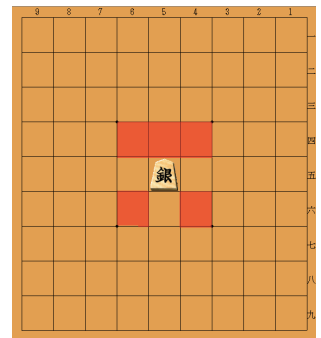
歩



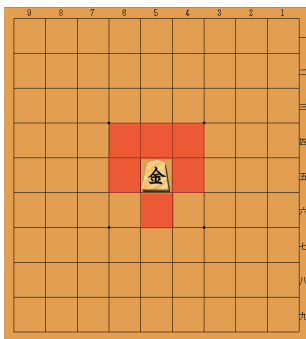
香車



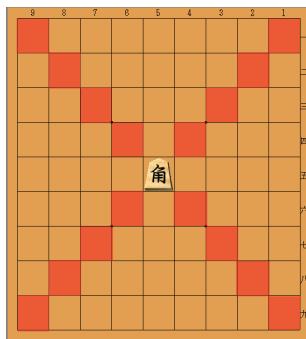
桂馬



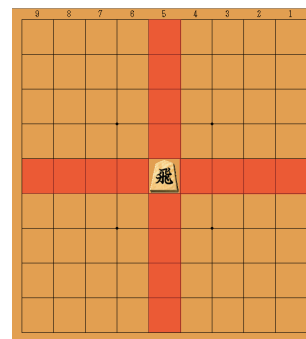
銀



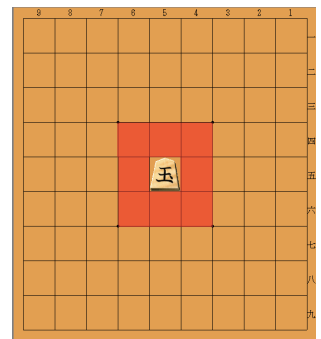
金



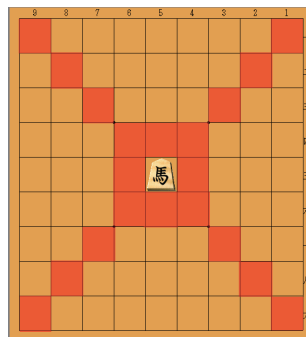
角



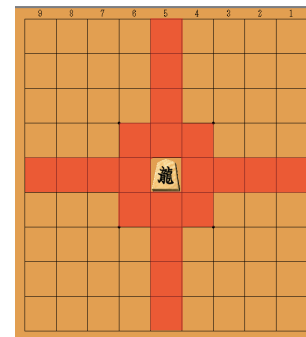
飛車



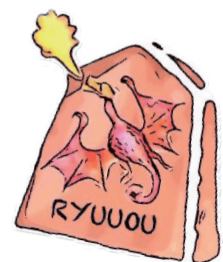
玉



馬



竜



Let's Try!